

晴れやかに5228人 2002年度(平14)入学式



02年度(平14)の専修大学入学式が5228人の新入生を迎えて、4月5日(金)午前10時30分から、東京・千代田区北の丸公園の日本武道館で挙行された。快晴のこの日、皇居・お堀端周辺の樹々は、みずみずしい新芽の若緑に染まって風にそよぎ、全学応援団やチアリーダーたちも出迎え祝福。式場へ向かう身長のスーツに身を包んだフレッシュな新入生や、正装の父母たちの晴れやかな笑顔の列が続いた。

晴れやかな表情で埋めつくされた日本武道館の式場には、専大フィルハーモニー管弦楽団の演奏するエドワード・エルガー作曲、新入生と参列の父母たちを祝福した。

出牛正芳学長は式辞の中で「貴重な4年間、時間を有効に使うように、またよき友を早く見つけよ」と述べた。

山下徳夫理事長は「建学の精神である『社会に対する報恩奉仕』また『質実剛健』『誠実力行』を座右の銘に」と祝辞を述べ励ました。山田拓くん(商学部会計学科・千葉県専大松戸高)が新入生を代表して宣誓。全員で校歌を斉唱して式を終了した。

[4月15日/ニュース専修1面]